

2014年10月21日/アカデミック・リンク・センター I 棟1階コンテンツスタジオ
2014年度アカデミック・リンク・セミナー(第3回)
「オープン化する研究情報流通と学習との接点」
参加者アンケート集計結果

当日参加者数：37名 アンケート提出数：21件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・日本における機関リポジトリの歴史がよくわかり、今後のオープン化、リポジトリの方向性が伺えた。
- ・図書館勤務になって4年目になります。機関リポジトリの立ち上げ、発展過程を学ぶことができ、大変素晴らしい機会を頂き、感謝します。
- ・図書館や、ジャーナル関係は全く素人の私としましては、知らない用語、考え方が多かったのですが、本日のセミナーで一部理解できた要素があり参考になりました。
- ・大学の将来、「大学は要らなくなる」は「今までのような大学は要らなくなる」ということだろう。旧来のものが通用しなくなりかかってから、通用しなくなるまでの期間が大変なスピードで短くなってきているということ。
- ・機関リポジトリ 千葉大の取り組み
- ・改めてリポジトリの課題を認識し、解決は難しいと感じた。が、日々の業務に前向きに取り組んでいきたいと気持ちを強くもった。
- ・一つの大学が学生の質を保証するのではなく、個人がポートフォリオをもってこれまでに学んできたことを証明していくという時代がくるかもしれない、というのは新しい視点でした。
- ・これまでの歴史と現状について、お二人とも極めて率直に語って頂き、大変面白かったです。これからを考えていくために必要な整理ができたと思いました。
- ・この10年の学術情報流通、オープン化の流れと背景。
- ・MOOCの役割の変遷について。
- ・本来の教育から学習の評価が重要となってきているとの事は興味深い。
- ・千葉大と、日本におけるリポジトリの歩み
- ・機関リポジトリの歴史的経緯、課題、今後できること。
- ・「機関リポジトリ」が短い期間にどんどん変化してきて、今に至っている、という事がよくわかりました。
- ・米国の医学教育で“competency”が論じられているが、多分、米国医学教育は失敗している。学生の学習をどうやっとならえるか？（とらえることができれば）
- ・学術情報のオープン化の歴史が良く理解できた。
- ・今後の大学・図書館の役割が少し判った。(生涯学者)
- ・消費者としての学生、MOOCによる学習成果の個別測定、が興味深かった。
- ・論文というのは今やメタ・データであるという考えは新鮮だと思った。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・学習との接点については、もう少し時間をとってお二人のお話を伺いたかった。
- ・大学評価との関連
- ・MOOCが日本においてどうなっていくか、それと機関リポジトリは、どう絡むのか。もう少し詳しくききたかった。
- ・Green—Gold（無料—有料）

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・ディスカバリーサービスの現状、今後の動向について。
- ・ポートフォリオ、反転授業（学習）の教材作成→あるいは、そもそも大学における全教材の作成、配布（配信）活用について
- ・学習とのつながりの部分や、グリーン vs ゴールドの話は、これはこれで、つっこんだギロンがまだまだできそうですね。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・まだ図書館員になって日が浅く、理解するには難しい点が多々ありましたが、とても興味深く聞かせていただきました。
- ・大変参考になる話をお伺いできました。ありがとうございました。
- ・お二人とも大変中身の濃いおもしろいお話でした。最後の掛け合いが良かったです。
- ・質疑応答タイムが、土屋先生と尾城次長の対談風になって、いっせずつと聞いていたと思うくらい内容が興味深かったです。こういう形式（なんというか忘れまして・・・）の時間が最初から設定してあってもいいのかなと思いました。
- ・あと1時間くらい「G vs G」のギロンをフロアをまじえてできたら、より面白かったと思います。
- ・改めて、グリーンOAを進めるための方策を考えたいと思いました。今は、ジャーナルの契約中止とIRがうちの大学の先生には全くリンクしていませんので。
- ・ざっくばらんなお話を伺えた。リポジトリの可能性、将来性を考えさせられた。（いい意味でも悪い意味でも）
- ・非常におもしろかったです。土屋先生のお話はライブハウスのショーのようでした。
- ・この10年間の経緯について、すべてわかったわけではありませんが、苦心苦闘の跡、その一端を示していただきました。感謝します。
- ・テーマの経緯、現在、動向、展望等について把握できた。両講師の話も面白かった。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 18名 b. 学内からの参加 2名 (回答なし 1名)
(2) a. 学生 0名 b. 教員 3名 c. 大学職員(図書館職員を除く) 1名 d. 図書館職員 11名
 e. 出版関係 1名 f. その他 3名 (回答なし 2名)

6. セミナーを何で知りましたか？

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) 1名 b. Web(図書館) 1名 c. Web(千葉大学) 0名
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 0名 f. センターからのメール 14名
g. Facebook・Twitter 0名 h. その他 5名(janulからのメール、他)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外()

ご協力ありがとうございました。

※5名が新規に継続的な情報提供を希望